

2023年12月期 第3四半期決算説明資料

1. 2023年12月期 第3四半期実績 P. 3
2. 2023年12月期 通期業績予想修正 P.11

1. 2023年12月期 第3四半期実績

- 売上高：縫製工場・電子部品製造受託工場の設備投資が慎重になり、特に最大市場である中国、東南アジアにおける投資の具体化が遅れ、また南アジア等の新興国の外貨不足に起因する購買の先送りなどにより、前年比 △22.4%の大幅減収。
- 経常利益：半導体コストの正常化や物流費、生産コスト削減に加え、コスト構造改革にも着手し、効果を刈り取りつつあるものの、当初想定以上の大幅な売上減少、工場稼働率の低下に加え海外の材料費や経費等の円安影響による負担増もあり、△3,117百万円の損失。

(単位:百万円)	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	87,087	67,546	△19,541	△22.4%
営業利益 [営業利益率]	2,487 [2.9%]	△2,870 [-]	△5,357	-
経常利益 [経常利益率]	2,035 [2.3%]	△3,117 [-]	△5,152	-
当期純利益 [当期純利益率]	1,011 [1.2%]	△4,062 [-]	△5,074	-
米ドル 期中平均レート	128円	139円	+11円	-
ユーロ 期中平均レート	136円	150円	+14円	-

1-2 セグメント別業績 -売上高-

■ 縫製機器 & システム

主に中国、東南アジアにおいてアパレルメーカーからの受注減により縫製工場の投資の具体化が遅れており、更に南アジア等の新興国の外貨不足に起因する購買の先送りなどにより売上が減少した結果、前年比△29.8%の大幅減収。

■ 産業機器 & システム

産業装置は、欧米では堅調な設備投資を背景に前年比売上を伸ばしたものの、特に中国では電子部品製造受託工場の投資の低迷などにより前年比減収。

グループ事業は、お客様のサプライチェーン分断への対応など設備投資需要の高まりもあり堅調に推移。

(単位:百万円)	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	前年比 増減額	前年比 増減率
縫製機器 & システム	59,938	42,081	△17,857	△29.8%
産業機器 & システム	26,957	25,217	△1,739	△6.5%
その他	191	246	+55	28.7%
合計	87,087	67,546	△19,541	△22.4%

1-3 セグメント別業績 -経常利益-

■ 縫製機器 & システム

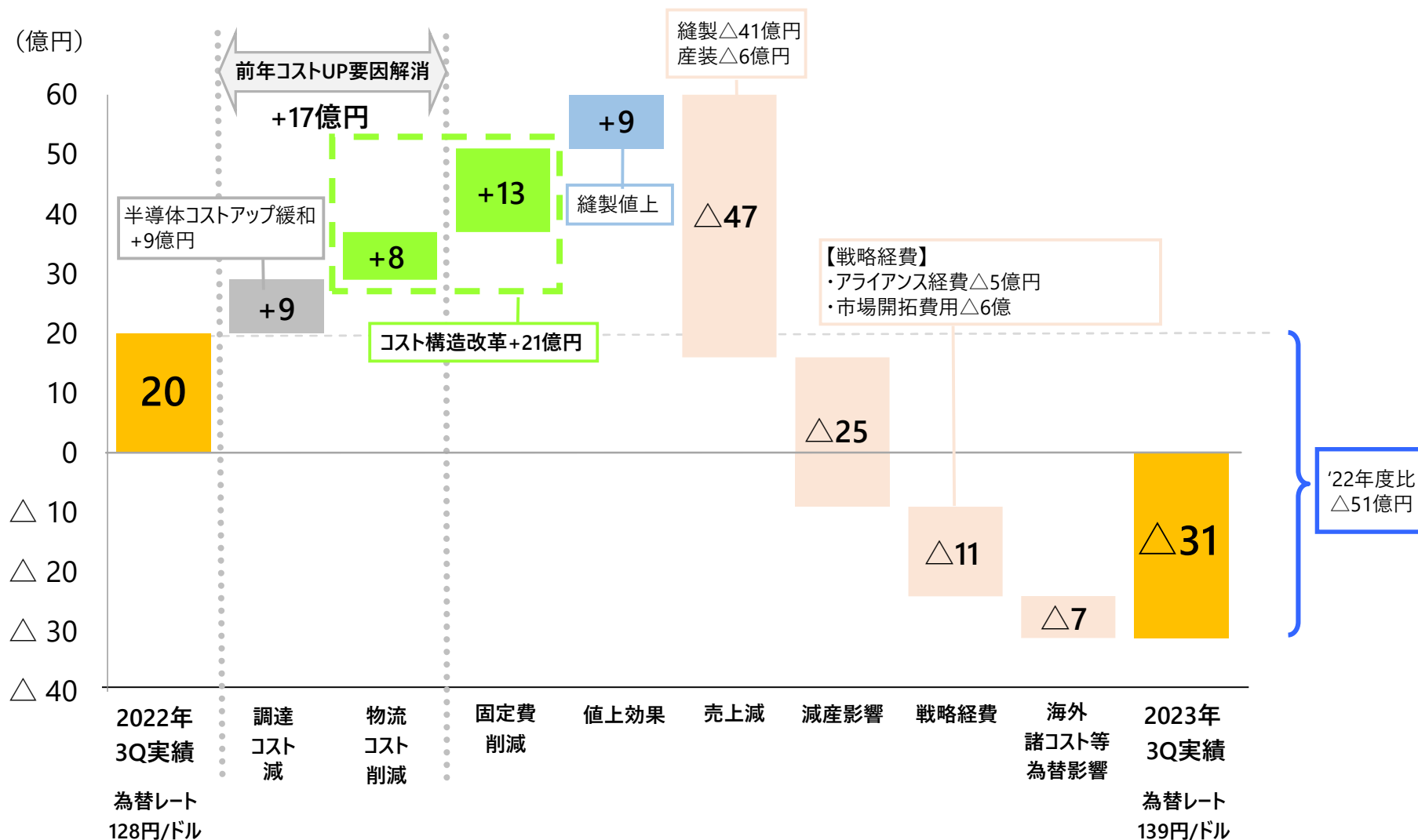
半導体コストの正常化や物流費、生産コスト削減に加え、コスト構造改革にも着手し、効果を刈り取りつつあるものの、当初想定以上の売上の大幅な減少と工場稼働率の低下などにより、△2,930百万円の損失。

■ 産業機器 & システム

産業装置における中国での売上減などにより、△362百万円の損失。

(単位:百万円)	2022年度 3Q累計	2023年度 3Q累計	前年比 増減額	前年比 増減率
縫製機器 & システム [経常利益率]	625 [1.0%]	△2,930 [-]	△3,556	-
産業機器 & システム [経常利益率]	1,498 [5.6%]	△362 [-]	△1,861	-
その他	23	57	+33	143.5%
調整額	△112	117	+229	-
合計 [経常利益率]	2,035 [2.3%]	△3,117 [-]	△5,152	-

1-4 2023年第3四半期累計 経常利益増減要因



1-5 主要財務項目

■ 売上減少に伴い売上債権が減少する一方で、在庫と有利子負債が増加。

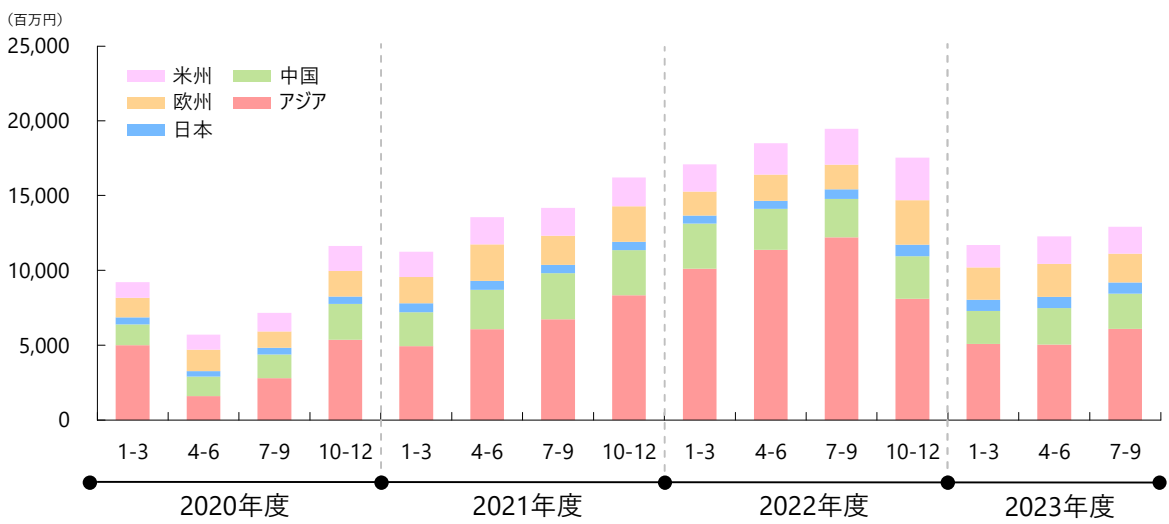
(単位:百万円)	2022年度 12月末	2023年度 9月末	増減額
総資産	145,169	147,827	+2,657
純資産 [為替換算調整勘定]	37,482 [1,048]	36,137 [3,954]	△1,344 [2,905]
自己資本比率	25.3%	23.9%	△1.4%
売上債権 [回転期間]	37,537 [3.8ヵ月]	35,044 [4.7ヵ月]	△2,493 [0.9ヵ月]
在庫 [回転期間]	62,429 [6.4ヵ月]	66,135 [8.8ヵ月]	+3,705 [2.4ヵ月]
仕入債務 [回転期間]	13,258 [1.4ヵ月]	10,516 [1.4ヵ月]	△2,741 [0.0ヵ月]
有利子負債	79,320	85,409	+6,089
現預金	4,931	5,824	+892
Net DEレシオ	1.98	2.20	+0.22
米ドル 期末レート	133円	150円	+17円

直近3ヶ月(6-9月)では
為替影響を除くと在庫22億を削減
⇒在庫の精力的な削減を進め
有利子負債の圧縮を図る

参考① セグメント別売上高推移 -工業用ミシン-

- 主に中国、東南アジアにおいてアパレルメーカーからの受注減により縫製工場の投資の具体化が遅れており、更に南アジア等の新興国の外貨不足に起因する購買の先送りなどにより、前年比△33%の減収。

【工業用ミシンの地域別売上高推移】（月次集計ベース）



【売上高：前年同期比較】

（単位：億円）

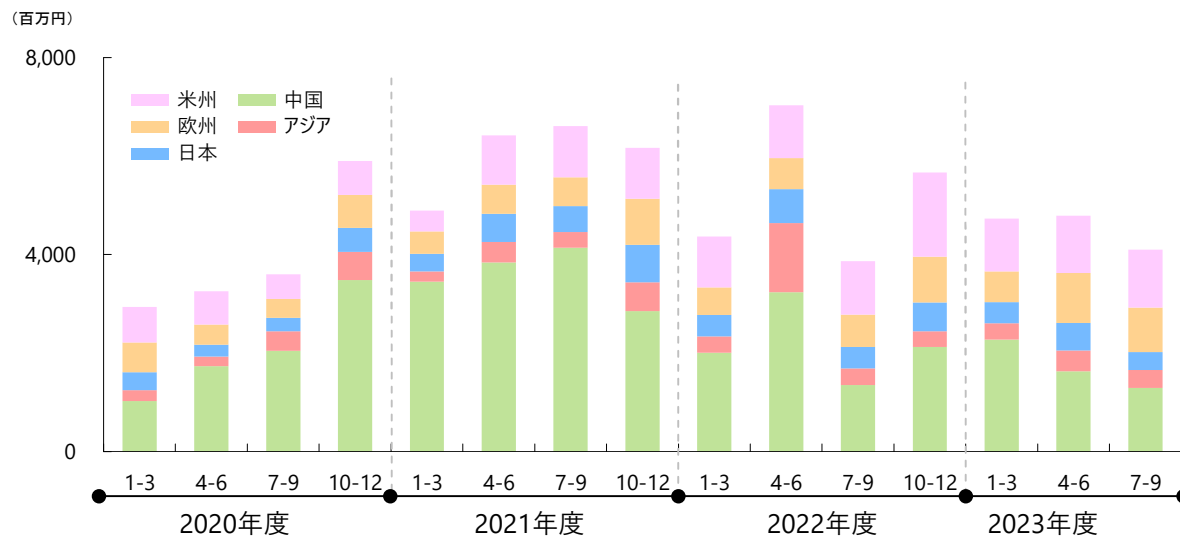
	2022年度 (1-9月)	2023年度 (1-9月)	増減額	増減率
中国	83	70	△13	△16%
アジア※	337	161	△176	△52%
中国+アジア	420	231	△189	△45%
日本	17	23	+6	+33%
欧州	50	63	+13	+26%
米州	63	52	△11	△18%
合計	550	369	△181	△33%

※インド市場は第3四半期で過去最高の前年並みまで販売増
中近東アフリカ市場は堅調に販売増加傾向

参考② セグメント別売上高推移 -産業装置-

- 産業装置は、欧米では堅調な設備投資を背景に売上を伸ばしたものの、特に中国では電子部品製造受託工場の投資の低迷などにより大きく伸び悩み、全体の売上は前年比減少。

【産業装置の地域別売上高推移】（月次集計ベース）
（含むパーツ・サービス）



【売上高：前年同期比較】

（単位：億円）

	2022年度 (1-9月)	2023年度 (1-9月)	増減額	増減率
中国	66	52	△14	△21%
アジア	21	11	△10	△46%
中国+アジア	87	63	△23	△27%
日本	16	14	△2	△14%
欧州	18	25	+7	+37%
米州	32	34	+2	+7%
合計	152	136	△16	△11%

2. 2023年12月期 通期業績予想修正

2-1 2023年12月期通期 業績予想の修正

- 物流・生産コスト削減、工場再編・拠点人員削減等のコスト構造改革にも着手し、効果を刈り取りつつあるものの、当初想定以上の売上減少、工場稼働率の低下等により、当初予想対比減益で推移しており、通期業績予想を下記の通り修正。

(単位:億円)	前回予想 (2023/2/9発表)	今回修正予想	増減額	ご参考 前期実績 2022年12月期
売上高	1,270	960	△310	1,175
営業利益	35	△23	△58	29
経常利益	30	△28	△58	12
当期純利益	19	△43	△62	△1
配当	25円/株	15円/株	△10円/株	20円/株
米ドル 期中平均レート	120円	140円	+20円	128円

※第4四半期の為替レートは1米ドル=140円を前提としております

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

お問合せ先：経営企画部 担当：鴨居田

TEL：042-357-2294

ホームページURL：<https://www.juki.co.jp/>